

## 編集後記

今回の特集「地球システム変動と大量絶滅」はいかがでしたでしょうか。いつもと違って、惑星科学会の皆さんにはあまり馴染みのない話題だったかも知れませんが、ちょっと趣旨説明をします。

最近、地球や惑星の進化・変動等をシステム論的な視点でとらえる、“地球惑星システム科学”が提唱されつつあります。これは、大気科学や固体惑星科学等のような従来の個別対象主義的な視点ではなく、地球や惑星を、磁気圏・大気圏・水圏・雪氷圏・生物圏・地殻・マントル・コア等といったサブシステムから構成されるひとつのシステムとして捉え、各サブシステム間の熱的・物質的・力学的な相互作用等を検討することによって、システムとしての安定性や変動性、進化を理解しようというものです。私たちに馴染み深い天体衝突現象も、システム形成の素過程もしくはシステムに対する外的擾乱という観点から捉え直すことで、地球惑星システム科学の重要な研究対象となります。火星や金星などの気候の安定性や変動性等についても、このような視点から検討されつつあります。

しかし、当然のことですが、実際の変動現象やそのメカニズムに関しては、地球について最も研究が進んでいます。また、システムの変動現象といっても、情報量が最も多いのは、やはり惑星表層環境システムの変動です。地球の場合、地球史における大きな環境変動は、生物の大量絶滅や進化とも密接な関係にあります。そこで、今回の特集では、あえて地球史における地球表層環境システムの変動現象と生物進化との関係に焦点をあててみました。

“地球システム科学”という言葉は、NASAが1988年の報告書で提唱して以来、その名前を掲げた組織ができる等、世の中になんかなり普及しているようにも見えます。しかし、その多くは看板だけで、中身は従来のままだったり、時間・空間スケールともに地球環境問題のレベルにとどまっていたりで、“システム論的なものの見方”や“地球全体をひとつのシステムとして捉え、地球形成からの進化を理解する”という視点は、いまだに確立されていないように思われます。その理由は、従来の個別的な学問分野間の敷居が高く(特に流体分野と固体分野の壁)、なかなかその枠組みから逃れることができないからではないかと思われます。

私は、従来の学問分野の束縛が弱くて柔軟な思考ができるはずの惑星科学においてこそ、より一般化された“地球惑星システム科学”という視点の確立に大きく貢献できるのではないかと期待しています。

特集号ゲストエディタ 田近 英一

編集委員

井出 茂〔編集長〕 城野 信一〔編集幹事〕

荒川 政彦 飯島 祐一 加藤 工 北島富美雄 倉本 圭 小林 直樹 高木 靖彦 高田 淑子

田近 英・ 出村 裕英 中村 智樹 中村 良介 半田 岳史 松島 弘・ 米田 成・ 渡部 潤・

2002年3月25日発行

日本惑星科学会誌 遊・星・人 第11巻 第1号

定 価 一部 1,750円 (送料含む)

編集人 井出 茂 (日本惑星科学会編集専門委員会委員長)

〒152-8551 東京都目黒区大岡山2-12-1 東京工業大学大学院理工学研究科  
地球惑星科学専攻

印刷所 〒135-0011 東京都江東区扇橋3-5-10 星光社

発行所 〒107-0052 東京都港区赤坂4-1-32 赤坂ビル2階

株式会社イーサイド登録センター内 日本惑星科学会

e-mail : staff@wakusei.jp

TEL : 03-3585-8161 / FAX : 03-3585-8162

(連絡はできる限り電子メールをお使いいただきますようご協力お願いいたします)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は日本惑星科学会が所有しています。

複写される方へ

本誌に掲載された著作物を個人的な使用の目的以外で複写したい方は、著作権者から複写権等の行使の依託を受けている次の団体から許諾を受けて下さい。

著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接日本惑星科学会へご連絡下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル 学術著作権協会

TEL: 03-3475-5618, FAX: 03-3475-5619

E-mail: kammori@msh.biglobe.ne.jp

# 地球惑星科学関連学会連絡会ニュース

## No.4

(2001年12月)

### 地球惑星科学関連学会2002年合同大会のお知らせ

地球惑星科学合同大会運営機構

#### 目次

- §1 合同大会案内サマリー・各種登録日程, お問い合わせ先, その他
- §2 セッション案内
- §3 個人情報登録
- §4 参加登録, 予稿集原稿投稿, 宿泊予約(料金)
- §5 運営機構からのお知らせ(展示・会合のお申込等)

## §1 合同大会案内サマリー・ 各種登録日程

- 会期：2002年5月27日(月)-31日(金)

(5月26日(日)青少年セミナー)

- 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

- 各種受付開始日・締切日：

	受付開始日	受付締切日
予稿集原稿 投稿	2002/ 1/10(木)	早期〆切: 2002/2/20(水)
		最終〆切: 2002/2/28(木)
大会参加登録 事前申込	2002/ 1/10(木)	2002/3/29(金)
宿泊予約		

- お申し込み後の日程：

請求書発送	2002/4/10(水)迄に完了	事前申込者のみ
支払締切日	2002/4/26(金)厳守	郵便振込
プログラム・予稿集 CD-ROM・名札発送	2002/5/20(月)迄に完了	入金確認者のみ

- 大会ホームページ：

2002年合同大会に関する情報および各種登録ページが置かれています。

合同大会ホームページ

<http://www.epsu.jp/jmoo2002/>

詳しくは上記のホームページを是非ご覧下さい。変更内容の情報は随時更新します。(変更内容のチェックもお忘れなく。)

- お問い合わせ先：

(問い合わせ先一覧は大会ホームページに掲載されています)

- 【大会全般】：

(青少年セミナー, 展示, 予稿集バックナンバー請求等)

合同大会運営機構 事務局

〒133-0033 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学理学部新1号館719室

Email: [office@epsu.jp](mailto:office@epsu.jp)

Fax: 03-5800-6839

- 【各種登録システムサポート】：

(電子投稿に関する質問, どうしても電子投稿の手段が確保できない場合も)

Webシステム登録センター

〒530-0001 大阪市北区梅田2-4-9

サンケイビル本館7階

株式会社ジェイコム内

E-mail: reg@epsu.jp

Fax: 06-6456-4105

月～金 9:30～18:00 (祝日を除く)

### §1.1 各種の登録

以下の登録は全て大会ホームページから行って下さい。

- ①個人情報登録
- ②参加登録(事前申込)
- ③予稿集原稿投稿(講演申込)
- ④宿泊予約

●参加される方は全員①, ②が必須です。②を行うためには、前もって①が必要です(ただし、既に登録済の方は再度行う必要はありません)。事前申込は当日受付(当日登録)より料金がお安くなっていますので、お勧めいたします。

●講演申込をされる方は①, ②に加えて③を行って下さい。共著の場合は、共著者についても①が必要です。当日発表される方も参加登録が必要です。

●会場の青少年総合センターへの宿泊を希望される方は、①, ②に加えて、④を行って下さい。

### §1.2 住所変更

プログラムおよび予稿集CD-ROMは、参加登録申込者のみに5月20日頃に発送される予定です。

転勤・卒業等で住所変更が生じた方は、Web上の「個人情報登録」にて、住所変更手続きを行って下さい。

### §1.3 保育希望の方へ

1-6歳児の託児サービス(利用時間に応じて実費負担)をご希望の方は以下のアドレスまで、電子メールでご連絡下さい。0歳児のいらっしゃる方、就学児童をお連れの方なども別途ご相談に応じます。

高田 淑子

宮城教育大学

〒980-0845宮城県仙台市青葉区新巻字青葉

E-mail: toshiko@miyakyu-u.ac.jp

## §2 セッション案内

●講演要旨の投稿は、1～2月中に合同大会ホームページ(@小見だし:§1参照)上で行って下さい。その際、照明や採光の関係で暗くならないためスライドを使用できないセッション会場がありますので、ご注意下さい。

「合同大会ホームページ」にセッション一覧リストが置かれておりますのでご参照下さい。尚、それぞれのセッションについての問い合わせは、ホームページにあります各セッションの連絡先へお願いします。

### ●プログラム編集作業

3月上旬に行われます。代表コンビーナーの方にご協力をお願いすることがありますので、連絡が取れますよう日程のご調整をお願いします。又、期間中ご不在の場合は代理の方をプログラム委員会(pcom-ml@jmoo.eps.s.u-tokyo.ac.jp)へ予めお知らせ下さい。

### 【2002年大会開催セッション一覧】

大記号・分類名	短縮名
Uユニオン	21世紀の地球惑星科学
	地球惑星科学の新しい概念と方法
	宇宙科学と宇宙開発
B地球生命科学	生命・水・鉱物相互作用
	アーキアンパーク計画
C地球化学	固体地球化学・惑星化学
	D測地学
	測地学一般
	地殻変動
	GPS
	衛星重力ミッション
	GPS気象学
E地球電磁気学	太陽圏
	宇宙プラズマ
	地球内部電磁気学
	地磁気・古地磁気

大記号・分類名	短縮名
	磁気圏電離圏結合
	宇宙天気
	地震電磁気現象
	CAWSES
G地質学	放射性廃棄物
	レオロジーと物質移動
	地域地質と構造発達史
	堆積
	長期火成活動と火山発達史
	断層レオロジーと地震発生
	ラウ・ハブル
H水文・陸水・地下水学	
	同位体水文学
	海水・地下水相互作用
	水循環水環境
I地球内部科学	超高压地球科学
Jジョイント	地球流体力学
	情報地球惑星科学
	宇宙・惑星観測技術
	電離圏・熱圏
	大気圏・熱圏下部
	変形岩・変成岩
	地球年代学
	活断層と古地
	オフィオライト
	岩石・鉱物・資源
	地下温度構造・熱過程
	CO2固定
	リソスフェアの構造と物性
	惑星地球システム
	惑星リモセン
	地殻浅部の流体移動と物性
	キッチン地球科学への招待
	地学教育
	地震発生帯掘削
	付加体から震源域物質へ
	ハワイホットスポット
K岩石・鉱物学	深成岩・マグマ
	鉱物物理化学
	サブファク
	衝撃変成作用

大記号・分類名	短縮名
L地球環境・気候変動学	
	古気候・古海洋
	バイカル湖と地球環境変動
	北太平洋高緯度の古海洋学
M地球惑星圏学	磁気圏物理
P惑星科学	惑星科学
	宇宙惑星固体物質
	惑星表層02
	火星共同観測
	水星とその周辺環境
Q第四紀学	第四紀
S地震学	地震に伴う諸現象
	地震発生の物理
	地震活動
	強震動・地震災害
	地震の理論・解析法
	地震計測・処理システム
	地震予知
	地震一般
	地盤構造・地盤震動
	震源過程・発震機構
	地殻構造
	強震動予測と地下構造
	津波堆積物
	地震予知：社会と科学
	地震波トモグラフィー
T地球惑星テクトニクス・ダイナミクス	
	テクトニクス
V火山学	活動的火山
	マグマシステムと噴火
	雲仙火山
	非定常流体力学と火山爆発
Y防災・応用地球科学	
	地質ハザード・地質環境

### §3 個人情報登録

合同大会では、個人情報登録によって、ID番号を取得していただいております。ID番号は各種登録、照会に必要です。登録は無料ですので、「合同大会ホームページ」より行って下さい。

## ●個人情報登録と個人情報ID番号

### \*まだ個人情報登録されていない方(共著者を含む):

まずは「合同大会ホームページ」の『個人情報登録』にてご登録を行って、「個人情報ID番号」を取得して下さい。

### \*既に個人情報登録をされてID番号を取得している方:

ID番号は今年度も有効ですので再登録は必要ありません。

### \*所属, 身分, Emailアドレス等登録内容が変わった方:

『個人情報登録』において個人情報変更を必ず行って下さい。情報が古いままですと重要な大会情報, 郵便物がお届けできなくなります。

### \*ご自分のID番号やパスワードを忘れた方:

『個人情報登録』の「各問い合わせ」にアクセスして問い合わせできます。

登録された個人情報は, 個人情報ID番号によって参照され, 参加登録, 予稿集原稿投稿, 宿泊予約に利用されます。この際, 講演者だけでなく共著者も個人情報ID番号の登録が必要です。共著者の個人情報ID番号が登録されていない場合は, 予稿集に共著者名が載らないこととなりますのでご注意ください。共著者がすでに個人情報登録を済ませている場合は, ID番号を「合同大会ホームページ」にて検索できます。

### 【個人情報登録のために必要な情報】:

- ・氏名(漢字, カタカナ, 英語) 姓と名別々に
- ・所属学会(複数選択式)
- ・所属機関名(漢字, カタカナ, 英語)
- ・所属機関名略称(漢字, 英語)(表示用)
- ・所属機関住所(漢字, 英語)
- ・身分(学生, 一般 選択式)
- ・TEL, FAX, E-mail

これらのデータは, 次年度以降の合同大会への各種登録の基礎データとして保存される予定です。

## §4 参加登録, 予稿集原稿投稿, 宿泊予約(料金)

お申し込みいただいた全ての費用のお支払い方法は「郵便振り込み」です(当日登録は会場にて現金)。参加費, 予稿集原稿投稿費, 宿泊費が一括請求されます。Webにてお申込み後, 郵便振り込み用紙が4/10頃までに郵送されます。振込み期限4/26をお守りください。

校費扱いにつきましては財務担当(中村: 電話03-5841-4591)へお問い合わせ下さい。

### §4.1 参加費用

		受付開始日	受付締切日	料金	方法
事前申込	一般	2002/1/10 (木)	2002/3/29 (金)	8,000円	Web申込みのみ
	学生			5,000円	
	一日券		2002/5/20 (月)	4,000円	
当日	一般			12,000円	大会当日 直接会場 受付にお 越し下さい
	一日券			6,000円	
学部生と70歳以上の方 (発表をしない場合)				無料	

### §4.2 予稿集原稿投稿(発表申込)費用

		受付開始日	受付締切日	料金	方法
予稿集原稿投稿		2002/1/10 (木)	2002/1/10 (木)	1,500円	Web申込みのみ
			2002/2/28 (木)	3,000円	
図掲載(希望者のみ)		(基本的に論文と同時受付)		1,000円	郵送
				検討中	Web申込

### §4.3 青少年総合センターへの宿泊, 費用

大会会場の青少年総合センター附属の宿舎への宿泊予約が可能です。但し, 確保しました部屋数には限りがありますので, 申し込み数が定員を超えた場合には締切日前に締め切ることもありますのでご了承ください。宿泊予約はホームページ上でのみ可能です。チェックインは5/26,27午後5:30~午後7:00まで, センター棟103号室(大会受付)で, 行って下さい。遅れる場合は, 午後6:00までに大会受付(オリンピックセンター代表) 03-3467-7201)に連絡をするか, 午後6:00以降はセンター棟103号室(大会受付)前の掲示に従って

ださい。

部屋はすべて個室(男女別)ですが、ビジネスホテルタイプ(バス・トイレ付き)とユースホステルタイプ(バス・トイレ共同でベッドメイキングは利用者が行なう)の2種類があります。

(全コース朝食なし)	受付期間	料金	方法
ユース 5泊コース (5/26-31)	2002/1/10(木) ~3/29(金)	13,500円	Web申込のみ
ユース 4泊コース (5/27-31)		11,000円	
ビジネス 5泊コース (5/26-31)		23,500円	
ビジネス 4泊コース (5/27-31)		19,000円	

#### §4.4 取消と取消手数料

- 振込後、参加を取り消されても予稿集原稿登録料の返金はできませんので、あらかじめご了承下さい。

		連絡期日	キャンセル料金	連絡先	連絡方法
参加登録	事前 申込分	2002/5/6 (月)迄	1000円+振込 手数料	①	Email又は FAX
		2002/5/7 (火)以降	不可 (返金なし)		Email又は FAX
予稿集 投稿	締切前	2002/2/28 (木)迄	.	②	Webにて
	締切後	2002/3/15 (金)迄	.		Email又は FAX
宿泊予約	入金なし	2002/5/6(月) 入金確認出来ない方	なし 自動キャンセル (予約者へWebシステム登録センターより通知後)	③	Email又は FAX
	入金有り	2002/5/19 (日)迄	1000円+ 振込手数料		
		2002/5/20 (月)以降	全額(返金なし)		Email又は FAX

#### ●連絡先:

- ①FAX:03-5800-6839 Email:reg@epsu.jp
- ②FAX:03-5800-6839 Email:abs@epsu.jp
- ③FAX:03-5800-6839 Email:lodge@epsu.jp

## §5 運営機構からのお知らせ

### §5.1 運営機構ホームページのご案内

運営機構のホームページを立ち上げております。運営機構のことだけでなく、2002年合同大会のお知らせ、

準備状況、各学会へのリンク、地球惑星科学関連の専攻、学科、研究所へのリンク、連絡会のお知らせ、等を掲載していきます。

URL <http://www.epsu.jp/>

### §5.2 合同大会当日の受付時間について

合同大会期間中の受け付け時間、場所は以下の通りに開設する予定です。

#### ●当日参加受付

大会前日 5/26(日) 受け付けしません

大会期間中の受付

5/27(月)~5/31(金)

AM 8:30~PM 3:00 センター棟 103号室

#### ●宿泊施設のチェックイン

5/26(日)27(月)

PM 5:30~PM 7:00 センター棟 103号室

### §5.3 団体展示・書籍出版展示

合同大会では、国際交流棟1ドレセプションホールにて、研究団体・企業・出版社などによる研究紹介・書籍・機器などの展示ブースを設けております。様々な形で自由にご利用頂き、有効な情報交換の場としてご利用ください。ご利用希望の方は、事務局へご連絡下さい。詳細(申し込み要綱)をご案内いたします。尚、お申し込みは3月末日(最終締切)まで、スペースに限りがございますので、お早めにお申し込み下さい。詳細は、後口ホームページ上に案内掲示予定です。

### §5.4 合同大会会場における会合申込み

会合・集会を行う団体の部屋使用希望の申し込みは以下の5項目を明記の上、4月末日までに運営機構総務局2002年会合係(E-mail: meet@epsu.jp)までメールにてお願いいたします。使用料は下表の通り。尚、希望に沿えない場合があります。(特に食事可能な部屋は2つしかありません。)

## 【お申し込み内容】

- 1) 会合名称
- 2) 申込み責任者とそのメールアドレス
- 3) 希望する部屋の大きさ(下表参考)
- 4) 希望する時間(開始・終了時刻)
- 5) 食事の希望有無(有の場合は弁当数)

## 【部屋使用料】

定員160人越え	¥10,000
定員160人まで	¥7,000
定員80人	¥4,000
定員40人	¥2,000
定員20人	¥1,000
定員20人(食事可能)	¥2,000 (部屋代のみ)

部屋の利用時間は、1コマの単位(1.5時間を目安)とします。

## § 5.5 2002年合同大会運営機構組織構成と連絡先

## ◇大会委員長: 木村 学

gaku@eps.s.u-tokyo.ac.jp

運営機構 jm-ml@jmoo.eps.s.u-tokyo.ac.jp

◇代表: 浜野洋三 hamano@eps.s.u-tokyo.ac.jp

◇財務局: fc-ml@eps.s.u-tokyo.ac.jp

中村正人 2002年担当責任者

mnakamur@eps.s.u-tokyo.ac.jp

木村 学 gaku@eps.s.u-tokyo.ac.jp

佐々木正博 msasaki@gsi.go.jp

佐倉保夫 ysakura@earth.s.chiba-u.ac.jp

綱川秀夫 htsuna@geo.titech.ac.jp

渡辺誠一郎 seicoro@eps.nagoya-u.ac.jp

◇企画局: plan-ml@jmoo.eps.s.u-tokyo.ac.jp

大村善治 2002年担当責任者

omura@kurasc.kyoto-u.ac.jp

安藤雅孝 ando@seis.nagoya-u.ac.jp

浦辺徹郎 urabe@eps.s.u-tokyo.ac.jp

大谷栄治 ohtani@mail.cc.tohoku.ac.jp

末広 潔 suyehiro@jamstec.go.jp

深尾良夫 fukao@eri.u-tokyo.ac.jp

丸山茂徳 smaruyam@geo.titech.ac.jp

安原正也 masaya@gsj.go.jp

ゲラーロバート bob@eps.s.u-tokyo.ac.jp

◇情報局: it-ml@jmoo.eps.s.u-tokyo.ac.jp

宮本英昭 2002年担当責任者

miyamoto@geosys.t.u-tokyo.ac.jp

大村善治 omura@kurasc.kyoto-u.ac.jp

倉本 圭 keikei@ep.sci.hokudai.ac.jp

竹内 希 takeuchi@eri.u-tokyo.ac.jp

田近英一 tajika@eps.s.u-tokyo.ac.jp

林 祥介 shosuke@gfd-dennou.org

古屋正人 furuya@eri.u-tokyo.ac.jp

塚本尚義 yuri@geo.titech.ac.jp

◇総務局: ga-ml@jmoo.eps.s.u-tokyo.ac.jp

岩上直幹 2002年担当責任者

iwagami@eps.s.u-tokyo.ac.jp

石橋純一郎 shi@geo.kyushu-u.ac.jp

沖野郷子 okino@ori.u-tokyo.ac.jp

中村美千彦 lessy@geo.titech.ac.jp

浜野洋三 hamano@eps.s.u-tokyo.ac.jp

松浦充宏 matsuura@eps.s.u-tokyo.ac.jp

湯元清文 yumoto@geo.kyushu-u.ac.jp

渡部重十 shw@ep.sci.hokudai.ac.jp

◇プログラム局: pro-ml@jmoo.eps.s.u-tokyo.ac.jp

岩森 光 2002年担当責任者・プログラム委員長

hikaru@eps.s.u-tokyo.ac.jp

阿部 豊 ayutaka@eps.s.u-tokyo.ac.jp

伊藤谷生 tito@earth.s.chiba-u.ac.jp

小野高幸 ono@stpp3.geophys.tohoku.ac.jp

多田隆治 ryuji@eps.s.u-tokyo.ac.jp

中嶋 悟 satoru@geo.titech.ac.jp

原 辰彦 thara@kenken.go.jp

村江達士 murae@geo.kyushu-u.ac.jp

吉田武義 tyoshida@mail.cc.tohoku.ac.jp

吉田尚弘 naoyoshi@depe.titech.ac.jp



渡辺誠一郎 seicoro@eps.nagoya-u.ac.jp

◇事務局: office@jmoo.eps.s.u-tokyo.ac.jp,  
office@epsu.jp

谷上美穂子 tanigami@eps.s.u-tokyo.ac.jp

橋田光代 hasida@eps.s.u-tokyo.ac.jp

学会選出プログラム委員

◇日本火山学会

高田 亮 a-takada@aist.go.jp

大湊隆雄 takao@eri.u-tokyo.ac.jp

◇日本岩石鉱物鉱床学会

榎並正樹 enami@eps.nagoya-u.ac.jp

廣井美邦 yhiroi@earth.s.chiba-u.ac.jp

◇日本鉱物学会

塚本尚義 yuri@geo.titech.ac.jp

三河内岳 mikouchi@min.s.u-tokyo.ac.jp

◇資源地質学会

加藤泰浩 ykato@geosys.t.u-tokyo.ac.jp

今井 亮 akira@eps.s.u-tokyo.ac.jp

◇日本地震学会

鷺谷 威 sagiya@gsi.go.jp

岡元太郎 taro@geo.titech.ac.jp

◇日本水文科学会

杉田倫明 sugita@atm.geo.tsukuba.ac.jp

高橋正明 mmst-takahashi@aist.go.jp

◇日本測地学会

古屋正人 furuya@eri.u-tokyo.ac.jp

松本見治 matumoto@miz.nao.ac.jp

◇日本第四紀学会

鈴木毅彦 suzuki@comp.metro-u.ac.jp

宮内崇裕 tmiya@msc.biglobe.ne.jp

◇日本地下水学会

丸井敦尚 a.marui@aist.go.jp

林 武司 thayashi@earth2.s.chiba-u.ac.jp

◇日本地球化学会

中塚 武 nakatuka@lowtem.hokudai.ac.jp

木多紀子 noriko.kita@aist.go.jp

◇地球電磁気・地球惑星圏学会

綱川秀夫 htsuna@geo.titech.ac.jp

早川 基 hayakawa@stp.isas.ac.jp

◇日本地質学会

木村克巳 kimura@gsj.go.jp

安藤寿男 ando@mito.ipc.ibaraki.ac.jp

◇日本惑星科学会

荒川政彦 arak@lowtem.hokudai.ac.jp

並木則行 nori@geo.kyushu-u.ac.jp

(以上学会五十音順敬称略)

# 学会誌原稿作成の手引き

日本惑星科学会編集専門委員会

## 1. 原稿の様式

### ○はじめの投稿:

委員長宛 ← プリントアウトした原稿2部  
[Post Script ファイルでもよい]

### ○最終稿:

編集幹事宛 ← プリントアウトした原稿2部, テキスト  
ファイル (Wordも可).

それと可能ならば画像ファイル. フォーマットは pict, tiff, eps が望ましい.

- ・ jpeg, gif, ps はなるべく避ける.
- ・ ファイル名はローマ字を用いる.
- ・ 校正ゲラ送付先の住所, 電話番号, ファックス番号, メールアドレスを付記すること.

委員長宛 ← プリントアウトした原稿1部

## 2. タイトル

記事のタイトルは15字以内. また, タイトル, 筆者名及び所属を和文・英文両方で付す.

## 3. セクション

セクションは 1., 2., ..., サブセクションは 1.1, 1.2, ..., 細区分は (1), (2), ..., の記号を頭にして, 左寄せ, 行末改行とする.

- ・ 文中での区分けは (a), (b), (c) を用いる.
- ・ これら記号はすべて半角文字を用いる.
- ・ セクションタイトルは12文字以内で簡潔にすること.
- ・ セクションタイトルとして “はじめに”, “おわりに”, “まとめ” は避ける.

## 4. 述語

専門用語はなるべく避けるか, 十分な説明をつける. 特に, 対応する日本語がある場合, 英語・英略語は使わない.

## 5. 字体

数字, 英字は半角とする. また (,) , [ ] , ; : など区切り記号も半角を用いる. 本文は立体 (ローマン), 数字はイタリックで組む.

## 6. 単位

使用単位については特に統一しない. ただし, gcm<sup>-3</sup>, cms<sup>-1</sup> などとはせず, g/cm<sup>3</sup>, cm/s とする.

## 7. 句読点

句読点は全角の “,” , “.” を用いる.

## 8. 図, 表

文中での図表の引用は “図1”, “図2” の形をとる. 最終稿送付に際して, 図表, 写真の刷り上がり時の大きさ, 位置を朱記指定のこと. 他の文献から図表を転載する場合は予め編集委員会に照会のこと.

### 写真投稿のガイドライン:

- ◇ 写真の場合: なるべくL版サイズ (写真屋で普通に焼いた時のサイズ) かそれ以上の大きさで鮮明なもの.
- ◇ 画像ファイルの場合: 印刷時実寸で350dpi相当以上のもの. フォーマットは pict, tiff, eps が望ましい. jpeg, gif, ps はなるべく避ける. jpeg は画質がもともと低くなりがちで, gif, ps は版組ソフトが認識してくれない場合があるため.

## 9. 脚注

脚注は “1” などの記号をつける.

## 10. 文献の引用

引用文献は重要なものに限る. 目安として10項目以内にする.

本文中での引用は [1], [2] の形で通し番号をつけ, 論文の末尾に一括してリストを載せる.

文献リストは題名は省略し, 3人以上の著者は et al. と表記する.

雑誌名などは一般に使われる略称を用い, ページ数は始めだけでよい. 以下の形式に従う.

### 参考文献

- [1] Wakusei, T. et al., 1989, *Astron. Astrophys.* 220, 293.  
[2] 惑星太郎, 1993, *天文月報* 86, 186.

## 11. 原稿の送付先

投稿時の送付先は編集委員長

〒152-8551 東京都目黒区大岡山2-12-1

東京工業大学大学院理工学研究科地球惑星科学専攻  
井田 茂

FAX: 03-5734-3538

e-mail: ida@geo.titech.ac.jp

最終稿の送付先は編集幹事

〒464-8602 名古屋市千種区不老町 理学部E館気付  
名古屋大学大学院環境学研究科地球環境科学専攻  
城野 信一

FAX: 052-789-3013

e-mail: sirono@eps.nagoya-u.ac.jp